

こどもが主役の街「キッズニア」 キッズニア東京で新研修制度を導入 ～全アルバイト従業員を対象に「こども」に関する専門研修を実施～

こども向け職業・社会体験型施設「キッズニア」を運営する、株式会社キッズシティージャパン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資)は、キッズニア東京でこども達の職業・社会体験をサポートするスタッフ「スーパーバイザー」として活躍しているアルバイト従業員に対する研修制度を確立させ、より高い意識とスキルを兼ね備えた人材として育成するため、2011年4月より、新研修制度(*1)を本格導入します。

新研修制度の導入に先立ち、本年1月より特別プログラムにて研修をスタートさせ、規定の研修及び業務に基づき評価した結果、最上位に格付けされる資格保有者から全スーパーバイザーの代表となるプレミアスーパーバイザーが誕生しました。

新研修制度では、「キッズニア」のスーパーバイザーとして、必要なスキルやこどもに関する専門知識だけでなく、社会人として必要な基礎的能力など、7教科21科目の研修プログラムが組まれています。特に「こどもに関する専門知識」に関しては、「保育の聖徳®」として高い評価を得ている聖徳大学・聖徳大学短期大学部(千葉県松戸市、学長 川並 弘昭)の協力の元、同大学の児童・幼児のプロである講師陣による「こども学(発達、教育)」などの特別公開講座(*2)を開設し、こどもに関する様々な知識・スキル向上を目指します。

この制度の開始にあたり、スーパーバイザーは現在までの実務、勤務年数などで評価され、4月から5段階(クリスタル→パール→サファイヤ→ルビー→ダイヤモンド)の各ステージが決定します。スーパーバイザーは自分のステージ(資格)を表すバッジ等を身に付け業務にあたります。また、最上位のダイヤモンドステージに認定されたスタッフの中から、更に、全てのスーパーバイザーの代表、シンボリック的存在となる「プレミアスーパーバイザー」を毎年2～3名選出します。

「プレミアスーパーバイザー」は従来の業務に従事しながら、新人スーパーバイザーのトレーニングや、各パビリオンでのアクティビティ指導にも携わると共に、全スーパーバイザーを代表し施設運営に関わる各種会議に参加します。また、国内外のキッズニアでの研修にキッズニア東京の代表として参加するなど、幅広い活躍が期待されます。

この研修制度は全てのスーパーバイザーが対象となり、研修にかかる時間は全て通常の労働時間と同様に賃金が支払われます。現在は約600名が該当し、全員がアルバイトとして在籍しています。

【新研修制度/研修教科】

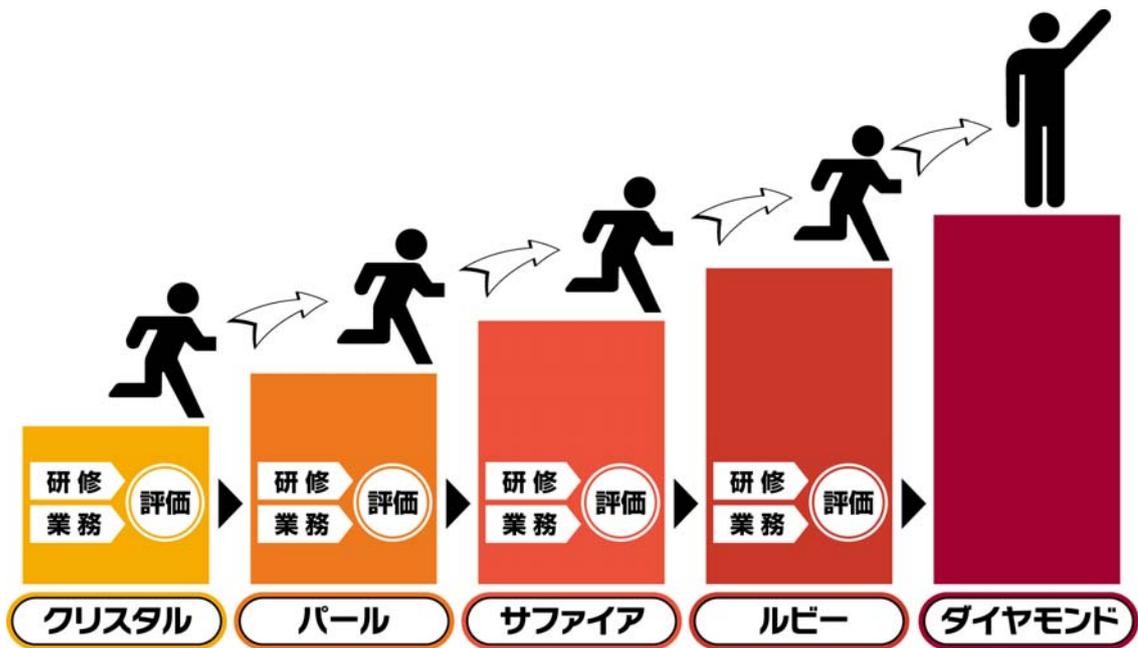
教科	科目
ホスピタリティ	ホスピタリティ
こども	発達、教育 ※聖徳大学・聖徳大学短期大学部の特別公開講座
社会	時事、スポンサー企業、業務
安全	施設環境、食品衛生、傷病
コミュニケーション	マナー、語学(国語・外国語)、手話、介助
表現	ダンス、発声、演技
演習	施設案内、ゲスト対応(保護者・こども)、アクティビティ



【スーパーバイザーの仕事風景】

雇用形態の多様化と人材の流動化が進む中、自己責任において能力を開発していくことが益々重要となってきています。キッズシティージャパンでは、2011年度から導入するこれらの新研修制度を通じて、アルバイト従業員のエンプロイヤビリティ(雇用され得る能力)が向上できる環境作りを目指し、各種プログラムを用意しました。この研修を履修することで、キッズニアのフロントラインで働くスーパーバイザーがより高い意識とスキルを兼ね備えた人材となり、今後もより一層お客様に満足していただける、感動のサービスの提供を行うべく、鋭意邁進して参ります。

*1 【キッズニア東京 新研修制度のステージ設定】



研修時間	7 時間	14 時間	16 時間	63 時間	—
------	------	-------	-------	-------	---

*2【聖徳大学・特別公開講座 講座内容】

◆こどもの病気・けが

「病気やけがの基礎知識と対処方法」

◆こども学〈1〉、〈2〉

「こどもの発達や特長について」

◆障がい介助

「身体障がい者への介助方法」

◆発達障がい

「こどもの発達障がいの基礎知識」

以上